



# おまちっ!

Vol. 132

2022. 9. 1 (隔月1回1日発行) 編集発行：群馬県県土整備部都市計画課まちづくり室(企画推進係)



内観イメージ

外観イメージ

桐生新町重伝建地区公開活用施設



## 歴史でもてなすまちづくり

- 歴史でもてなすまちづくり～桐生新町重要伝統的建造物群保存地区～
- 沼田市 歴史的建造物の活用と中心市街地の活性化
- 令和3年度桐生市景観講演会 「ランニング風景学」～私を世界へ導いた桐生の街と山々～

【連載】観光まちづくり最前線・地域を歩くレポートNo.29

### 多彩な観光的魅力の宝石箱・府中

ー多様な主体のチカラを結集する協働型の観光振興をめざして

【トピックス】ぐんま“まちづくり”ビジョン シンポジウム

マーチィ'sROOM ●マーチィに訊け まちづくりライブラリーからおすすめの一冊

●マーチィ VOICE まちづくりプレイヤー紹介

●マーチィの掲示板 令和4年度群馬県まちづくり功労者表彰

【まちづくりイベント情報】県内で行われるイベントの紹介

●マーチィの独り言





# 歴史でもてなすまちづくり ～桐生新町重要伝統的建造物群保存地区～

桐生市 産業経済部 日本遺産活用室

## ■ はじめに

桐生新町重要伝統的建造物群保存地区(以下「重伝建地区」)は、町立て当初からの敷地形態と共に、当時から生産が行われ、近代の桐生を代表する産業となった絹織物業を中心に発展した地域です。江戸後期から昭和初期に建てられた主屋や土蔵、ノコギリ屋根の工場など、絹織物業に係る様々な建造物が一体となり、製織町として特色ある歴史的な環境を今日に伝え、桐生を示す象徴的な地区として、平成24年7月9日に重伝建地区に選定されました。今年で選定10周年を迎え、日本遺産の構成文化財の一つにもなっていることから、記念イベントとして、重伝建地区選定10周年記念「日本遺産と桐生を紡ぐスマホスタンプラリー」を9月30日(金)まで開催中です。きぬめぐり2次元コードからは是非ご参加ください。

きぬめぐり



## ■ 歴史的建造物の活用

重伝建地区選定後10年が経過し、まちなみ保存地区として認識が高まる中、地区内への出店や移住に対する動きが増えてきています。

空き家となっていた建物が、修理事業を経て店舗として生まれ変わるなど、地域の活性化と共に保存に対する意識の向上に繋がっています。

## ■ 重伝建地区公開活用施設～令和6年度開館予定～

重伝建地区内のほぼ真ん中に公開活用施設を整備しています。工事期間は、令和4年6月～令和6年3月で約2年をかけて、歴史的建造物を修理し、令和6年度の開館を目指しています。歴史的建造物の保存修理は改修工事や新築工事とは違い、既存建物の一つ一つの部材をなるべく残しながらの修理で、土壁を直す際は土の乾燥期間も必要となるため、通常より長い期間をかけ修理します。

開館後は、建物の魅力を伝える施設として、桐生新町の外観や庭の佇まいと建物内部の見学ができるようになります。

## ■ 活用イメージ「使って、みせる建物」

この施設は重伝建地区の核として、この地区で活動するひとや、重伝建地区を訪れるひとに対して、情報を発信する場として、様々な活動の拠点となる施設を目指し整備予定です。



重伝建地区公開活用施設 外観イメージ

- 例1：コミュニティの場として、地元の関係者や大学の研究室、まちづくり団体などの活動拠点、重伝建地区の勉強や打ち合わせなど、会議の場に活用
- 例2：重伝建地区に関する相談対応、市の観光情報の発信、パンフレットの配布や案内、重伝建地区の紹介展示、来訪者の休憩の場等に活用
- 例3：まちの賑わいを演出する場として、敷地を重伝建地区の住民等の交流を行う場や地域のイベント会場等として活用

## ■ おわりに

重伝建地区公開活用施設と並行し、群馬県の事業として本町通りの整備も行われています。重伝建地区のこれから数年の変化が新たなまちなみ保存の機運へつながらよう、今後も継続して歴史まちづくりに取り組んでまいります。



活用例: Com+position(コンポジション) 帽子の製造販売



活用例: カイバテラス カフェ兼書籍・雑貨店





# 歴史的建造物の活用と中心市街地の活性化

沼田市教育委員会 文化財保護課

## ■はじめに

沼田市中心市街地内の上之町では、歴史的建造物などが集約しつつあり、大正ロマンエリアとして整備が進んでいます。平成26年の生方記念文庫の完成を皮切りに、旧沼田貯蓄銀行、旧土岐家住宅洋館及び旧日本基督教団沼田教会記念会堂の移築が完了しました。

現在は、旧久米邸洋館の移築事業を行っており、基礎工事が終わり躯体工事に入り、令和5年の完成を目指しています。



旧久米邸洋館移築工事状況

## ■「大正ロマン」のまちづくり

沼田市第六次総合計画や沼田都市計画マスタープランなどの計画では、歴史的雰囲気も感じることのできる新しい魅力を持った、にぎわいのある中心市街地を目指しています。そのために歴史文化・観光資源の保存活用を推進することとしており、大正ロマンエリアに歴史的建造物を整備することで、魅力ある街並みとし、中心市街地の交流人口増加を図ります。

## ■「歴史的建造物のおもてなし」

大正ロマンエリアの建造物に、より多くの方が訪れ、活用し、親しみをもってもらうためソフト事業を展開しています。活用は施設見学はもちろんのこと、文化活動や写真撮影(グラビア、コスプレ、成人式など)のための部屋の貸出及びイルミネーションなどを行っております。

また、プロモーション活動強化のため、プロのイラストや、シンボルマークを作成し、活用するとともに、YouTubeでのプロモーションも試み、旧土岐家住宅洋館の360°動画を制作しました。



旧土岐家住宅洋館イルミネーション

## ■おわりに

沼田市文化財保護課では、歴史的建造物の文化的価値を守りつつ、活用することで次世代への継承を図っています。これからも、まちづくりと、文化財保護との調和を考えながら、様々なことを試みますので、ぜひお越しください。

※沼田市では、令和4年2月にぐんま“まちづくり”ビジョンに係るアクションプログラムの策定を行いました。

YouTubeで見られる旧土岐家住宅洋館の360°動画です。

インターネットが繋がれば、いつでもどこでも見学できます。右記QRコードからご覧ください。



旧久米邸洋館イラストを活用したシンボルマーク





# 令和3年度桐生市景観講演会 「ランニング風景学」～私を世界へ導いた桐生の街と山々～

桐生市 都市整備部 都市計画課

桐生市では、景観行政団体になった平成25年度以降、景観形成に関わる様々な取組みを実施しており、そのひとつとして、多くの方に景観を意識し考えていただく機会となるよう、景観講演会を開催しております。残念ながら、令和元年度と令和2年度はコロナ禍で中止となりましたが、4回目となる今回、桐生市出身プロトレイルランナーの鍋木毅さんを講師に迎え、3月21日(月・祝)に桐生市立中央公民館市民ホールにてご講演いただきました。また、初の試みとしてYouTubeにて生配信・見逃し配信も行いました。

また、講演会の関連イベントとして、「鍋木毅 パネル展」と題し、世界最高峰のトレイルレースの写真や動画・大会出場時の装備などを市役所市民サロンにて1月12日～2月7日に展示し、当日も会場前のホワイエにて展示しました。併せて、桐生市の景観の取組みも紹介しました。会場は連日多くの方々に賑わい、鍋木さんの写真とともに、景観まちづくりを感じていただく機会となりました。

さて、講演会ではまず「市の取組み」を説明し、景観形成のポイントなどをお伝えし、私たちにできる3つのことをお願いしました。

- ① 桐生に暮らし、桐生らしさを守り、桐生らしさを後世に受け継いでいきましょう。
- ② 景観はちいさな一つ一つの積み重ねです。生活の中で意識しましょう。
- ③ 後世に受け継ぐ「地域の景観」はどうあったらいいのか、一人ひとりが意識し、興味を持ち、理解しましょう。

次に、「ランニング風景学」～私を世界へ導いた桐生の街と山々～と題し、トレイルランニングというスポーツを選んだ経緯や努力してきた過程、30か国以上の世界の舞台で戦われた経験から世界の都市景観や山岳景観、鍋木さんの土台となった桐生の魅力ある景観についてお話いただきました。

子どものころ見た田園風景、憧れをもって見た桐生の街並、そういった景観が自分に「世界に羽ばたきたい、大自然を走りたい」というインスピレーションをすごく生んでくれた。住んでる人から見れば「いつものなんとなく」の風景でも、一回リセットして見るとすごくいい街だとさらに思える。吾妻山から見る桐生の美しさ、この魅力は守っていくべきだと、トレイルランニングの世界を通して景観まちづくりについて多角的にお話しいただき、多くの方が景観を身近に感じていただくきっかけとなる、楽しい講演会になりました。

また、講演会後には、隣接の新川公園にて、ランニングセミナー～風景を楽しもう！レベルアップを目指そう！～と題し、トレーニングの方法をご教授いただいたほか、桐生の街歩きについても紹介いたしました。



パネル展の様子



講演会の様子



プロトレイルランナー 鍋木毅さん



ランニングセミナーの様子



# 多彩な観光的魅力の宝石箱・府中 —多様な主体のチカラを結集する協働型の観光振興をめざして

帝京大学 経済学部 観光経営学科 大下ゼミ

今回レポートする府中市は、地名からもわかるように武蔵国の国府が置かれたまちです。府中市観光のさらなる発展に向け「府中市観光振興プラン」が改訂され、観光プランを具体化するために観光フォーラムが開催されるとの情報を得たことから潜入調査してきました。

## ■ 観光的魅力が多すぎる贅沢な府中市観光

新宿から京王線特急で23分と都心と近い府中市を代表する観光資源は、まちの中心にある「大國魂神社」と関東三大奇祭の一つと言われる「くらやみ祭」であり、歴史・文化・お祭りといった伝統文化を守りつづけています。府中駅から大國魂神社につながる「馬場大門けやしき並木」は平安時代に植樹されたといわれており、まさに地域の宝です。現在では並木通りを活用して府中ストリートテラスなど新たな取り組みが展開されています。

ユーミンの中央フリーウェイの歌詞に出てくるビール工場(見学可)と東京競馬場、甲州街道の宿場町、ラグビータウン、身近で多彩な公園、ちはやぶるの聖地など、かつての都庁機能があった府中には、伝えきれない新旧の魅力がたくさんありすぎて、観光のイメージがフォーカスされていないかもしれません。贅沢な悩みですね。

## ■ 持続可能な協働型の観光振興を進める改訂版の観光振興プランを策定

「府中市観光振興プラン」は、新型コロナウイルス感染症の拡大や旅行者の意識・行動の多様化などを踏まえて2020年から検討が開始され、2022年3月に新たなプランが策定されました。

7月7日開催の観光フォーラムでは、新プランの紹介の後、改訂に関わったメンバーによるパネルディスカッションが開催されました。前プランでは、指標・ターゲットが明確でないこと、観光資源を点ではなく面として捉えること、市民が誇れる観光の視点を活用することなどが課題となっていました。新プランでは、市民が誇れる観光・交流の磨き上げ、地域の活力向上、持続可能な協働による観光まちづくりの実現を目指して取組もうとしています。

これまでインバウンド向けとしてお寿司体験や着物体験などの外国人ツアーの実施や、地域活性化の担い手として市民や若者に活躍してもらえるような取組みなどを実施してきた実績をもとに、さらにその先に近隣自治体や大学、そして市民の方々などのサポーターの力が重なることで府中市観光を進めるチカラが結集されようとしています。

## ■ 府中市観光振興連絡会が進める子ども向けの観光かるたプロジェクトの展開に期待!!

近年、観光業界では若者を対象に人材の育成に力を入れています。「観光」に特化した授業を取り入れている学校もあるのです。府中市の観光振興プランも同様に、「人材育成」を目標に「市民が誇りを持てる町」や「若者目線の観光」という内容が取り上げられたとのことです。

そして目標実現に向けた取組みを先導するため、府中市では市内に住む子どもたちに「観光かるた」を作成してもらい、魅力の発見・発信するプロジェクトを始めようとしています。そこには取組みをきっかけに郷土意識の醸成と観光意識の向上につなげていこうという思いが感じられます。私たちもこのプログラムに参加して府中市観光の魅力向上・発信に少しでも貢献できればと思っています。

(加賀美結月・武田結稀)

出典:「府中ストリートテラス」の写真は(一社)まちづくり府中より提供していただきました。



中心にある大國魂神社はまちの宝。歴史と伝統を感じる清浄の空間です。



ちはやぶるのマンホール。アニメの聖地として若者を惹き付けています。



観光フォーラムのパネルディスカッション—くらやみ祭の衣装での出演……地域愛を感じました!!



府中駅から大國魂神社につながる「馬場大門けやしき並木」では府中ストリートテラスが開催され、賑わいが生まれています。





# ぐんま“まちづくり”ビジョン シンポジウム

群馬県 県土整備部 都市計画課

群馬県都市計画協会と群馬県主催、(公財)群馬県建設技術センター協賛による「ぐんま“まちづくり”ビジョンシンポジウム」が令和4年7月15日(金)、群馬会館2階ホールで3年ぶりに開催されました。

## 基調講演 『サステナブルな都市と地域をつくる～都市全体のかたちと地域のまちづくり～』

サステナブルアーバンフォーム(持続可能な都市形態)、まちづくりに関わる多様な人々の協働によるまちづくりでは、効率的な都市活動、猛暑や水害等に耐えられる環境を如何につくるかといったチャレンジをしていかなければなりません。

今回は、東京大学大学院工学系研究科 村山 顕人 准教授に、私たちの暮らしを取り巻く、環境負荷、防災・減災、人口減少・超高齢社会への適応といった様々な状況の変化や課題に、まちづくりを通じて取り組む方法や、産学官民協働で都市や地域を形成する手法等について様々な事例を交えてご講演をいただきました。地域主体のまちづくりを推進してきましたが、その多くが目前の問題解決が目的となっていました。小さなアクションを積み重ね、市街地環境の更新と併せて、ITツールを利用しながら未来のニーズも満たす『まち』を『つくる』ため、地球を中心に据えたまちづくりといった大きな視野で捉えること、課題を診断することの必要性についてご教授いただきました。村山准教授、貴重なご講演をありがとうございました。



村山准教授



講演の様子

## 事例発表 前橋市『前橋市のまちなかウォークアブルの推進について』

前橋市が令和元年9月に策定公表した『前橋市アーバンデザイン』、先進的な取り組みとして「居心地が良く歩きたくなるまちなか」をキーワードに、前橋市都市計画部市街地整備課の濱地副主幹が事例発表を行いました。



濱地副主幹

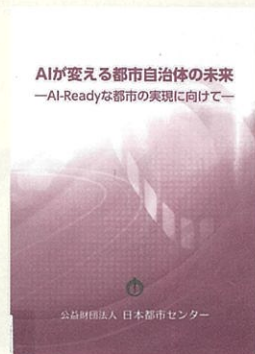
策定エリア内で高い効果が期待できる広瀬川河畔をモデルプロジェクトに選定し、エコ・ディストリクト、ミクストユース、ローカルファーストの方向性(ビジョン)を官民で共有しながら機運を高めるプロモーション活動。完成時のイベントや完成後の人流調査等を予定するなど、前橋デザインコミッションをはじめとする民間プレーヤーとまちなかウォークアブル推進の動きが見える形での展開がはかられています。今後の前橋市の取り組みに、さらなる期待を抱かせる素晴らしい発表でした。



# マーチィ's ROOM

## マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!  
『AIが変える都市自治体の未来—AI-Readyな都市の実現に向けて—』編集・発行:(公益財団法人)日本都市センター



AI(人工知能)は、私たちにとって身近なものになってきており、日常生活をはじめとした社会に浸透しつつあります。飛躍的な進化を遂げているAI技術は、行政サービスの提供や自治体の日常業務にとっても例外ではありません。

音声認識技術を活用したコミュニケーション支援をはじめとした、誰一人取り残されない社会をつくるうえでAIが果たす役割は大きくなっていくことが予測されます。

人口減少、高齢者が増加していく社会では、行政サービスを必要とする人が増加する反面で十分な行政サービスを提供することが難しくなっており、そのような中で地域の特性や課題・ニーズを把握し、EBPM(Evidence Based Policy Making)に基づいた行政経営を展開する必要があります。個人情報やデータ活用するための法整備などのさまざまな課題があるため、AI導入は道半ばといった状況ではありますが、こうした状況の中で日本都市センターでは2018年度に、学識者および都市自治体職員からなる「都市自治体における人工知能の活用に関する研究会」を設置し、調査研究を進めており、本書では、現地ヒアリング調査およびアンケート調査の結果を踏まえながら、研究会において積み重ねられてきた議論の成果がまとめられています。

これから未来の行政運営する上で、AIの導入について検討するための参考書として必読の内容となっておりますので、ぜひ興味がある方は手にとってみてください。

今号のおすすめ  
ライブラリーはこちら!



## マーチィ VOICE

### ●まちづくりプレイヤー紹介●

藤岡市地域おこし協力隊OB 星野 潤



「ほしのいえ」でのまきわり



【Art for Futuer】の様子

まちづくりイベントで大切にしていることは、「自分が心から『良い』と思うことをやる」という点です。ここでの『良い』は、環境に良いとか、子供にとってプラスとか、自分の好きなこと、楽しいこと、という『良い』です。更に地域社会にとってもプラスになるのであれば、楽しくできそうです。

今回は地域の歴史が描かれた「鬼石のおこり」という絵本を、音楽にあわせて上演する、ミュージカルのような音楽イベント【Art for Futuer】を企画、実行しました。

プロの演奏に合わせて上演された絵本は、何度か読み聞いたそれとは全く質の違うものとなり、見る人の心に訴えかけてくれました。

出演者には地元のお寺の住職さんが弘法大師役で、また地元で活動する音楽家の方にもご出演いただきました。藤岡市役所鬼石支所にもご協力いただき、地元の小中学生は無料で入場できるといった地元の協力のもと、地元と一緒に作るアートイベントとなりました。鬼石地区は海外のアーティストの受け入れや、アートまつりも開催されており、地域にとっての個性の一つです。こういった魅力を伝えると同時に、地域内外から参加して下さることで、アートが文化として醸成されていくように思います。

## マーチィの掲示板

### 『令和4年度群馬県まちづくり功労者表彰』

群馬県では昭和60年から「群馬県まちづくり功労者表彰」を実施しております。

表彰では、魅力あるまちづくりの推進に努め、顕著な功績のあった民間の団体、個人及び市町村に対して、知事から感謝状をお贈りしています。

今年度の表彰につきましては、以下の1名、1団体が受賞されました。

#### ■松井 淳 様(前橋市都市計画審議会会長)

平成24年度から前橋市都市計画審議会の会長に就任し、建築分野の学識経験者としての知識と経験を活かし、公正かつ慎重な審議を行い、適切な都市計画の推進に多大な貢献をされています。

#### ■前橋市本町14地区優良建築物等整備事業共同施行者協議会(代表者:株式会社セーフティ 代表取締役 輿石将人 様)

県庁前通りに面した地区において「前橋市本町14地区優良建築物等整備事業」を施行し、景観に配慮したデザインを有する複合ビルの建築を行いました。

また、歩道状空地にストリートファニチャーや植栽を整備するとともに、景観や歩行者の安全に配慮した照明を設置し、魅力的な歩行空間の創出に貢献しました。

当地区は前橋城大手門跡に位置し、工事中に出土した石垣の保存措置を施す等、歴史を尊重した事業施行に努めました。



輿石様

松井様





# まちづくりイベント情報



※新型コロナウイルスの影響により開催中止、延期場合があります。予めご了承ください。

## ニッポンの神業ミュージアム

桐生のまち全体がミュージアムとなり、工場見学ツアーや豪華景品がもらえるスタンプラリーなど、さまざまなイベントを実施しています。パンフレットを手に町を巡りながら、様々な伝統技術に触れることができる「周遊型ミュージアム」です。

■6月25日(土)～11月6日(日)  
ギャラリー禅林:10:00～17:00

■桐生市内各地  
【お問い合わせ先】  
神業ミュージアム

東京事務局  
FAX 03-3238-0230  
MAIL  
kamiwazamuseum@gmail.com



## ぬまた市産業展示即売会

沼田市の生産品、工芸品など「沼田のいいもの」を多数集めて展示即売会を行います。

■10月8日(土)、9日(日)  
10:00～16:00

■沼田公園グラウンド

【お問い合わせ先】

沼田市経済部産業振興課商工振興係  
Tel 0278-23-2111



## リアル宝探し「イトマキ探偵トミーの名推理～煉瓦に隠された富岡製糸場の秘密～」

宝の地図(参加冊子)の謎を解きながら、市内に隠された宝箱を見つけ出すリアル宝探しゲームです。さあ宝探しに出かけよう!

■現在開催中～令和5年3月31日(金)  
詳細はホームページをご確認ください。

■富岡市内2コース

【お問い合わせ先】  
(一社)富岡市観光協会  
Tel 0274-62-6001



# おしらせ

## 渋川市 デマンドバスの導入について

渋川市では、コロナ禍の中、市委託路線のバス車両へのICカードや空気清浄機の導入、車内の抗菌加工等で、安心・安全な移動の確保に努めてきましたが、現在「デマンドバス」の拡充も進めています。

この「デマンドバス」は、今までの定時定路線型の運行と異なり、商業施設や医療機関等、市内に多数設置する乗降ポイント間を、利用者の予約に沿って結ぶ移動手段であり、予約があってはじめて運行します。複数の予約が重なった際は、一部乗合が生じますが、AIによる管理システムを導入し、効率的に運行します。

今までより、ご自宅に近い場所で乗降できることで、もっとバスが身近な移動手段になれば、と考えており、市内北橋地区で先行導入したものを、小野上・子持地区に展開し、百数十か所のポイント設置を進めています。



## ぐんま景観・まちづくり展

市町村が誇る景観の写真及び県内のまちづくり活性化の取組について群馬県公式YouTubeチャンネルtsulunonで公開中です。

動画URL:

<https://youtu.be/U4oRqCOKwZc>

【お問い合わせ先】

群馬県都市計画課企画推進係  
FAX 027-226-3661



**帝京大学** 経済学部 観光経営学科  
Faculty of Economics Department of Tourism Management

幅広い教養、豊かな国際感覚、確かな専門知識と行動力をあわせ持つ人材を育成します。

- ・観光産業を経済学、経営学の流れの中で学ぶ。
- ・旅行業務取扱管理者資格取得に向けて、万全のフォロー体制。
- ・実地で旅行業務が学べる「実習授業」が豊富。

入学試験情報	出願期間	選考試験日	合格発表日	※出願方法はインターネット出願です。
※詳細は必ず「入学試験要項2023」をご確認ください。	総合型選抜(1期) 2022年 9月15日(木) 5 2022年 9月30日(金)	【試験日自由選択制】 10月8日(土) 10月9日(日)	11月1日(火)	

帝京大学 本部広報課 TEL: 0120-508-739 〒192-0395 東京都八王子市大塚 359 URL: <https://www.teikyo-u.ac.jp>

地域の宝を掘り起こす! 観光事業支援

Salvage まちづくりラボ・サルベージ株式会社

- ・観光事業 (PR) 支援
- ・イベント企画・運営支援
- ・特産品を活用した商品  
ご当地メニュー開発
- ・観光市場調査

「伊勢崎市境島村まちづくり推進事業委託」他各地でお世話になっております。

弊社公式ページ

東京都町田市町中1-22-7  
Tel. 042-729-8618 Fax. 042-729-8619

## マーチの独り言



みなさん夏の思い出はできましたか。

今年の夏は各地で祭や花火大会などが開催され、夏らしい景色が少し戻ってきたように感じました。

私の夏の思い出はなんとといってもカブクワ(カブトムシ&クワガタ)です。今年もカブクワを求めて、深夜の公園や森をひた歩きました。雑木林や森林は住宅街に比べると夜の気温の下がり方が早く、また虫の音がヒーリングミュージックのように聞こえる「居心地が良く歩きたくなる」空間です。

今年は初めて外国産のカブクワの飼育にも挑戦しました。キッカケは採集中間のTさん。偶然Tさんの仕事の配達エリアに我が家があったことから自宅が特定され、ヒルスシロカブト、スマトラオオヒラタ、メタリフェルホソアカが配達されるというサプライズ。「ご厚意は無駄にはできない!」ということで、まずは室内飼育について女王蜂をなんとか説得。最初は難色を示していましたが、今ではマメにエサ交換をしてくれます(笑)

採集シーズンが終わり燃え尽き症候群気味ですが、来夏に向けてカワイイ幼虫たちの飼育を頑張ろうと思います!

有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。

【お問い合わせ先】

群馬県県土整備部都市計画課まちづくり室(企画推進係) TEL 027-226-3661 URL <http://www.pref.gunma.jp/07/h5800127.html>